マカオの主なカトリック行事　年間予定表

103-0016　東京都中央区日本橋小網町8-2-203
株式会社シーエフシージャパン マカオコンシェルジュ
TEL:03-5843-6478 FAX:03-6800-2257

日付	行事名	イベント正式名（英/中）	内容
2026/2/21（土）・22（日）	**パッソス聖体行列**	Procession of Our Lord of Passos 苦難善耶穌聖像出遊	何千人もの信者が参加する、マカオで最も有名なカトリック伝統の行事で450年続いており、**マカオ無形文化財**の一つです。 かつて、聖オーガスティン教会に安置されていたキリスト像を大堂（カテドラル）に移したところ、翌日には元の位置に戻っていたという逸話に基づく聖体行列です。紫色のローブに身を包んだ聖職者たちが、聖オーガスティン教会に安置されている十字架を背負ったキリスト像を掲げて街中を行進、大堂（カテドラル）に運び、夜通し祈祷を捧げた後、翌日に聖オーガスティン教会に戻します。
2026/4/3（金）	聖金曜日の聖体行列	Procession of the Lord's Burial in Macau 耶穌聖屍出遊	毎年 聖金曜日に行われる、荘厳な聖体行列です。 ポルトガル由来のカトリックの伝統でポルトガルやブラジルの各地でも受け継がれており、マカオでは、100年以上続く地元の伝統行事です。 信徒にとっては、主の受難を黙想し、福音を伝える大切な機会です。 ミサ後出発した行列は、途中、奉献の祈りと聖体賛美式を行い、厳粛な雰囲気に包まれます。
2026/4/5（日）	復活祭（イースター）		各地がイースターのデコレーションで彩られ、イベントも開催。復活祭当日には、大堂（カテドラル）で多言語ミサも行われます。
2026/5/13（水）	**ファティマ聖母の行列**	Procession of Our Lady of Fátima 花地瑪聖像巡遊	1917年5月13日、ポルトガルの小さな村ファティマで聖母マリアが3人の若い羊飼いの前に現れた奇跡はカトリックに公認され、信仰の地となっています。この奇跡を祝うファティマ聖母の行列はマカオで60年以上前から続く最大行事の一つで、毎年信者が聖ドミニコ教会からベンニャ教会へ巡行します。
2026/6/7（日）	**聖体祭の行列**	Corpus Christi Procession in Macau 澳門基督聖體聖血節：隆重聖體出遊	キリストの聖体の祝日（聖体祭）を祝うマカオの伝統行事で、44年間途絶えていたものが2017年に復活しました。 聖体の実在を信じる信仰を公に表す祭日で、マカオでは荘厳な聖体行列が市内で行われます。司教や聖職者、信徒たちが聖体を掲げて街を巡り、賛美と祈りを捧げます。 日時は不定で、過去には3日間行ったこともあります。 2024年の例：前日の午後3時から「徹夜聖体礼拝」、その後神父もしくはシスター（海外から招待されることも）のお話、翌日は午後3時に中学校からカテドラルへ行列です。
2026/6/14（日）	聖アントニオ行列	Procession of St Anthony in Macau 澳門聖安多尼聖像出遊	1231年6月13日に亡くなった聖アントニオ・デ・パドヴァ（1195-1231年）を記念する行事です。世界中のポルトガルコミュニティの中で信仰されてきた聖アントニオですが、マカオでは特に、海の安全を祈る信仰の象徴として愛されています。 現在の聖アントニオ教会は石で再建されたものですが、 当初は1560年以前に竹と木で建てられた、マカオで最も古い教会の一つです。 1874年9月22日、台風によって教会は雷に見舞われ火が燃え盛り、海の漁師たちはその火のおかげで岸に戻ることができたのです。それ以来、マカオ市民は毎年、幼子イエスを抱いた聖アントニオの像を掲げて街頭を行進するようになりました。
2026/6/20（土） ・21日（日）	聖ヨハネ祭	Macau St. John's Festival 聖約翰節	聖ヨハネ祭は、マカオのポルトガル人およびマカエンセ（ポルトガル系マカオ人）コミュニティによって17世紀以来開催されている伝統的な祭です。 この日はカトリック教会で聖ヨハネの誕生日として祝われていますが、マカオでは、1622年6月24日にオランダ艦隊の侵攻を聖ヨハネの加護とともに撃退して以来、この歴史的勝利と聖ヨハネの誕生の両方を祝う日として定着し、聖ヨハネはマカオの守護聖人として崇拝されています。 ポルトガルとマカオの文化が融合した音楽・ダンス・屋台等が楽しめる人気イベントで、ラザロ教会周辺には、ポルトガル伝統のイワシのグリル、手工芸品などの屋台が並びます。
2026/7/13（日）	聖ロケ行列	Procession of Saint Roque 聖羅格聖像出遊	**マカオ無形文化財**の一つで、毎年7月の第2日曜日に行われます。 19世紀末に、聖ロケがマカオで発生したペストを鎮めるよう神に祈り、疫病が終息したことを記念して行われる行列は、ミサ後に聖ラザロ教会を出発し、周辺の通りを巡った後、再び教会へと戻ります。
2026/12/3（木）	聖フランシスコ・ザビエル神父命日のミサ	—	1552年12月3日 に中国・上川島（サンシャン島）で亡くなったザビエルを偲ぶ日で、聖ヨセフ修道院及び聖堂にザビエルの遺骨があります。大堂（カテドラル）では、毎年ミサが行われます。 マカオから上川島へは、日帰り訪問が可能です。
2026年12月8日	カルメル山の聖母の行列	Procession of Our Lady of Carmel 嘉模聖母像出遊	2015年以降開催されている祝祭です。タイパ島のカルモ教会を出発点として行われ、敬虔なカトリック信者たちが、中国語・ポルトガル語・英語など様々な言語でロザリオを唱えながら祈りの行列に参加し、世界平和と罪人の回心を願います。
2026/12/25（木）	クリスマス		セナド広場など、各地がクリスマスでデコレーションやイルミネーションで彩られます。クリスマスイブと当日には大堂（カテドラル）で多言語ミサも行われます。

マカオにまつわる日本でのカトリック行事

2026年2月1日（日）	（日本にて） 日本二十六聖人殉教記念ミサ	—	1597年（慶長2年）2月5日に豊臣秀吉の命によって長崎で26名のクリスチャンが日本で初めて処刑されたことを偲び、祈りを捧げる日です。 絵図のオリジナルはマカオの大堂（カテドラル）にあります。

※上記内容および日程は予告なく変更される場合があります。
※行列は雨天中止の場合があります。